

2017年度の事業報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特例認定特定非営利活動法人まなびと

1 事業の成果

(1) 放課後学びスペースアシスト事業

- ・本事業は、以下4つを目的として展開した。①子どもたちが安心できる場をつくる②子どもたちと学びあう人が集う場所をつくる③皆が自ら学ぶ場所をつくる④コミュニケーションを通じた人とのかかわりで多様な学びを得る場所をつくる
- ・上記4つの目的を実現するために、学園都市校・甲子園校・六甲校の3か所で教室運営を行った。
- ・学園都市校では、平成29年4月1日～平成30年3月31日の間、週1回（毎週月曜日18時30分～21時00分）、BRANCH神戸学園都市内にあるまちづくりスポット神戸が運営するコミュニティールームにて教室を開いた。生徒13名（中学生6名、小学生7名）に対して、スタッフ10名で対応した。前期は「自分の得意や興味を広げる場がない子どもたちに対して、異なる経験を持つスタッフが集まり1人ひとりに寄り添い、子どもたちが自分の興味を通して他のことに触れ“もっとやってみたい”という思いを引き出すことで、子どもたちが関心を深め、新たな得意や興味を見つけることのできる教室をつくる」、後期は「」を目指して運営した。
- ・甲子園校では、平成29年4月1日～平成30年3月31日の間、週1回（毎週金曜日18時30分～20時30分）、地域交流を目的とした住み開き型レンタルスペースであるまんまるみかんにて教室を開いた。生徒7名（高校生1名・中学生5名・小学生1名）に対して、スタッフ7名で対応した。前期は「自分が何のために勉強するのか分からない、やりたいことが見えない子どもたちに対して、週に1回人と関わり、知らないことに触れることができる場をつくることで、子どもたち一人ひとりが興味のあることや、やってみたいことを新しく見つけられるようにする」、後期は「自分の気持ちをうまく伝えられず、周りに頼りきれない子どもたちに対して、家族でもなければ、学校の先生でもない立場の人が一緒に勉強したり、遊んだり、話したりすることで、自分の気持ちを外に出すことができる場をつくる。それによって、子どもたちがやりたいことのやり方や見つけ方が分からないときに、人に聞く経験を積む。」を目指して運営した。
- ・六甲校では、平成29年4月1日～平成30年3月31日の間、週2回（毎週木曜日19時～21時・毎週金曜日16時30分～17時30分）あーとすぺーす童夢にて障がいを持った生徒2名（高校生1名、小学生1名）に対して、スタッフ1名で個別に学習支援を実施した。

(2) アシスト学園都市 ベジガーデンとの共催イベント

- ・アシスト学園都市校が実施している野菜作りにおいてお世話になっている、まちづくりスポット神戸の登録団体であるベジガーデンと共催で料理作りのイベントを実施した。プランターで収穫した野菜を使い、カレー、ポテトチップス、サラダなどを子どもたちと大人と一緒に作り食事会を行った。また、ベジガーデンのメンバーが手品なども披露してくれた。
- ・開催日は平成29年7月9日。地域とのつながりを子どもたちに感じてもらうことや、普段お世話になっている地域の方と触れ合うことを目的に行った。

(3) アシスト学園都市 クリスマス会

- ・アシスト学園都市校の事業の一環としてクリスマス会を実施した。
- ・開催日は平成 29 年 12 月 20 日。子どもは 11 名、スタッフは友人も合わせて 8 名が参加した。
- ・普段教室に通っている生徒やスタッフだけではなく、生徒やスタッフの友人なども参加してもらうことでいつもと違う人との関りをもってもらうこと、また教室の紹介を目的に行った。

(4) 神戸こども探険隊事業

- ・本事業は、神戸北野エリアにて、子どもたちが安心して学んだり遊んだりできる場所をつくることを目的に、平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日の間、週 1 回（毎週水曜日 15 時～19 時）、北野地域福祉センターにて実施した。
- ・2015 年度より連携を強化してきた北野婦人会や社会福祉協議会などの参加する地域福祉ネットワークとの協力のもと、神戸市からの補助を受けて無料（おやつ代は月額 300 円）で運営した。
- ・生徒 26 名（小学生 26 名）に対して 12 名のスタッフで対応した。
- ・教室内で宿題や持ってきたワークなどの勉強をするだけでなく、遊びながら学べるコンテンツとして実験や工作、読み聞かせや知育ゲームなどを実施した。

(5) 学童保育事業

- ・本事業は、神戸北野エリアにて、地域での学童保育所の不足を解消すること、子どもたちの放課後の安全な居場所の確保とその時間で新しい発見や学びを得てもらうことを目的に平成 29 年 6 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日の間、当法人が運営する学童保育所「北野くん家」にて実施した。
- ・生徒は小学生 8 名。スタッフは職員 2 名と学生ボランティアを配置した。
- ・一人一人の子どもに目が届きやすい環境を目指し、学校からの迎えや、宿題や習い事の勉強を付き添うなど細やかにケアすることを心掛けた。また施設内にあるおもちゃで遊ぶほかにも、自分たちで工作をしたり、公園で外遊びをしたりするなど、様々な遊びを通して学ぶ力を養ってもらった。長期休暇中には動物園や博物館などに出かけることもした。

(6) いんぷらっとほ一む事業

- ・本事業は、学校終わりや仕事終わりに多様な人が集まり、交流しながら新たな発見や新たな繋がりを生む場として実施した。
- ・平成 29 年度通年行い、火曜日・木曜日・金曜日に不定期で開催した。
- ・ある分野に深い知識を持った人をゲストに招き講演してもらったり、テーマを決めて食材を持ち寄り、参加者で料理を作って食べたりするなどした。この事業内で繋がった人同士が独自に新たな企画を考えるなど、交流と新たなきっかけ作りの場として成功することができた。

(7) 日本語教室だんらん事業

- ・日本語を学ぶことを通じて、日本人と外国人の国籍や文化、宗教といった枠を越えたコミュニティを形成することを目的として活動した。
- ・前期は参加者の日本語レベルに合わせて、上級・中級・初級の 3 つのクラスに分かれて事業を実施した。後期は各曜日の教室ごとに特色を出し、前期の形を継続するものや、ディベートを行うもの、ビジネスに関する日本語を扱うものなどを教室内で実施した。
- ・平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日、週 3 回（毎週月曜日・水曜日・木曜日 19 時～20 時 30 分）、月曜日と木曜日は王子公園まなびと事務所「まなびの樹」にて、水曜日は北野地域福祉センターにて教室を開いた。なお木曜日は平

成 29 年 5 月より開校。

- ・平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日、週 4 回（毎週月曜日・水曜日（2 教室）・木曜日 19 時～20 時 30 分）、月曜日・水曜日・木曜日は王子公園まなびと事務所「まなびの樹」にて、水曜日のもう一つの教室は当法人が運営する民間学童保育所である北野くん家の実施場所にて教室を開いた。
- ・生徒 30 名に対して、スタッフ 30 名で運営し、初級クラスでは、日本語の基礎から学びたいという日本に住む外国人を対象に、ひらがなや発音、文法などの基礎的な日本語を教えた。中級クラス、上級クラスでは、会話を中心に授業を行い、毎回トピックを決めてその話題について話したり、個別に日本語能力検定の試験勉強を教えたりした。また普段の生活の中で困っていることに一緒に対応するなど、参加者にとって居心地の良い場所を作ることを目指した。10 月からは各教室で特色を出し、上級者むけのティベートを行う授業や、ビジネスなど特定のシチュエーションにおける日本語を学ぶ授業を行うなどした。また通常の運営だけでなく、イベント等を実施した。

(10) 日本語教室だんらんイベント事業

- ・日本語教室だんらんイベント事業では、①教室に参加する生徒との交流を深めること②新規教室参加者とのつながりづくりといった 3 つの目的からイベントを開催。
- ・各イベントの趣旨、開催日程、開催状況などは「2. 事業の実施に関する事項」に記した通り。

(11) 日本語教室だんらん 個別授業事業

- ・日本語教室の一環として、インドネシア人 1 名に対して個別にて日本語教育の授業を請け負う。
- ・平成 29 年 4 月～9 月に実施。月曜日～金曜日 9 時 30 分～12 時 30 分。王子公園まなびと事務所「まなびの樹」および学童保育所「北野くん家」にて実施。

(12) 「北野こくさい夏祭り」出店

- ・2015 年度より連携を強化し、神戸こども探検隊を実施した北野エリアにおいて地域とのつながりを深める一環として平成 29 年 8 月 27 日に実施された北野こくさい夏祭りに出店。
- ・子どもたちに向けた印象に残るブースづくりを目指し、ゲーム型ブースとして「スローイングスナイパー」を行った。
- ・当日は人の子どもたちが参加して、多くの地域の子どもたちに楽しんでもらうことができた。
- ・今年度はスタッフとして日本語教室だんらんに通う生徒も一緒に参加した。

(15) 「北野ギャザリング」参加

- ・夏祭り同様、北野エリアの地域との連携強化、および同エリアで実施している神戸こども探検隊の広報の一環として平成 29 年 10 月 29 日に実施された北野ギャザリングにスタッフとして参加。
- ・子どもたちがスタンプラリーをしながらお菓子をもらっていくブースを担当した。
- ・参加者は北野エリアの子どもたちが多く、神戸こども探検隊に参加している子どもも多かった。小学校以下の子どもやその保護者も多く参加したため、今後の北野エリアでの活動を実施する上で当法人の存在を知ってもらうことができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数 (※スタッフの 数)	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 人数
青少年に対する学習支援事業および青少年に対する学習支援活動全般に携わるボランティアの育成事業	「放課後学びスペースアシスト」以下3校の運営 ① 学園都市校 ② 甲子園校 ③ 六甲校	(A) 通年：学園都市・甲子園校週1回、六甲校週2回 (B) 神戸市内・西宮市内 (C) ① 10名 ② 7名 ③ 1名	(D) 小・中・高校生 (E) ① 13名 ② 7名 ③ 2名
	「ベジガーデンと共催の料理会」 アシスト学園都市校として、野菜作りでお世話になっているベジガーデンと共催で実施。収穫した野菜を調理する。	(A) 7月9日 (B) BRANCH 神戸学園都市内コミュニティールーム (C) 6名	(D) 小・中学生 (E) 3名
	「クリスマス会」 アシスト学園都市校としてクリスマス会を実施。ケーキを作りや、ゲームを行う。	(A) 12月20日 (B) BRANCH 神戸学園都市内コミュニティールーム (C) 8名	(D) 小・中学生 (E) 11名
	「神戸こども探険隊」	(A) 通年週一回 (B) 北野地域福祉センター (C) 12名	(D) 小学生 (E) 26名
社会問題・国際問題について理解を深めるための大人を対象とした学習会事業	「いんぷらっとホーム」	(A) 通年不定期 (B) 学童保育所「北野くん家」 (C) 3	(D) 大学生・社会人 (E) 60名
日本語非母語話者への日本語学習支援事業	「日本語教室だんらん」 各教室運営とイベントの実施	(A) 通年・平成28年4月～9月週3回、10月～平成29年3月週4回 (B) 神戸市内 (C) 30名	(D) 日本に住む外国人 (E) 30名

「だんらん Sprots Festival」	(A) 平成 29 年 10 月 8 日 (B) コミスタ神戸 (C) 15 名	(D) 日本に住む外国人 (E) 16 名
「Danran Chirstmas event」	(A) 平成 29 年 12 月 16 日 (B) コミスタ神戸 (C) 11 名	(D) 日本に住む外国人と日本人 (E) 10 名
「個別教室」	(A) 4 月～9 月 (B) 王子公園まなびと事務所「まなびの樹」、学童保育所「北野くん家」 (C) 1 名	(D) 外国人 (E) 1 名
「北野こくさい夏祭り」への出店 (北野エリアの子どもたちに向けて「スロージングスナイパー」というゲーム型ブースを出店)	(A) 8 月 27 日 (B) 神戸北野工房のまち (C) 29 名	(D) 小・中学生 (E) 242 名
「北野ギャザリング」 (スタンプラリー企画の手伝いとして参加)	(A) 10 月 29 日 (B) インドクラブ神戸 (C) 4 名	(D) 小・中学生 (E) 不明

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	事業費の金額 (単位：千円)
実施なし			